



▲壁画の前で笑顔で記念撮影

宗像水光会総合病院に中学生の壁画を設置 医療従事者と患者に癒しを

宗像水光会総合病院に、福岡中学校美術部の生徒たちが描いた壁画が設置され、10月26日に除幕式が行われました。

壁画はコロナ禍で開設された発熱外来の壁面に設置され、描かれた太陽や鳥は福津市が明るい未来に向かって前進していく姿を表現しています。美術部の生徒たちが半年間かけて縦1.6mで、横が6.4mと3.2mの2作品を仕上げました。原画を考案した原心乃花さんと佐伯歩美さんは「この壁画を見て、少しでも多くの方が優しい気持ちになって安らぎを感じてもらえたら」と話していました。

明治安田生命から寄附をいただきました 福津を応援「私の地元応援募金」

豊かな地域社会づくりに貢献する「地域の元気応援プロジェクト」の一環として、10月25日、明治安田生命保険相互会社福岡支社から市に寄附をいただきました。寄附金は、健康づくりや子育て支援に関する取り組みなどに幅広く活用します。



▲目録を掲げる生井俊夫理事支社長と原崎市長

花王グループと包括連携協定を締結 持続可能なライフスタイル確立のために

花王グループと市は、10月25日「持続可能なまちづくりに関する包括連携協定」を締結しました。今後、花王グループが持つノウハウやアイデアの提供を受け環境啓発や意識の醸成、子どもの自立支援に関する取り組みなどを行っていきます。



▲協定書を掲げる中山淳史常務執行役員と原崎市長

発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限りません。データを持ち込みは受け付けられません。毎号先着24人で、3月生まれの赤ちゃんは令和5年1月20日(金)が受付期限です。受付、問い合わせ 市子育て支援センターなかよし(ふくとぴあ) ☎35・8382 休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

柳木 湊月ちゃん 宮
柳木 葵衣ちゃん 宮
小森 瑛士郎ちゃん 福
伊藤 結哉ちゃん 南
森 湊音ちゃん 福
大西 光ちゃん 福
西 佑真ちゃん 南

やくなくふくつつつ 1歳おめでとう



「初防衛」か「待った」か

竜王戦第5局 福津対局
将棋の竜王戦第5局が11月25日、11月26日の2日間、宮地嶽神社で行われました。藤井聡太竜王の3勝、広瀬章人八段の1勝で迎えた第5局。藤井竜王が初のタイトル防衛なるか、それとも広瀬八段が「待った」をかけるか、大事な対局の行方は、133手で広瀬八段に軍配が上がりました。対局を終えた両棋士は、大盤解説会場の市中央公民館に登場。ステージに上がると会場は大きな拍手で包まれました。勝利した広瀬八段は「これで2勝3敗。追い込まれている状況に変わりない」と気を引締め、藤井竜王は「気を取り直して臨みたい」と前を向きました。



①竜王戦前日の記者会見 ②③宮地嶽神社での対局 ④～⑭「勝負めし」と「勝負おやつ」 ⑮市中央公民館で対局を振り返る両棋士 ※②④⑤～⑭の写真は日本将棋連盟から提供





▲愛馬エイルの横で賞状を掲げる中本さん

国体馬術5位入賞 3年分の思いを込めて

第77回国民体育大会少年の部馬術競技「二段障害飛越競技」が10月8日に行われ、光陵高校3年生の中本諒さんが5位入賞しました。

中本さんは、多くの大会入賞者を輩出している中本乗馬倶楽部で、幼稚園に通っているときから馬に乗り始め、小学3年生で初めて大会に出場。高校生になり国体出場を目指していましたが、コロナ禍で2年連続の中止。3年ぶりの開催となった今回、愛馬「エイル」とともに見事入賞を果たしました。

「馬に乗ることが本当に楽しい」と話してくれた中本さん。今後も馬術を続ける予定とのことなので、更なる活躍が楽しみです。



▲笑顔で賞状を掲げる松尾さん

むなかた地域農業功労賞を松尾さんが受賞 地域の農業振興に貢献

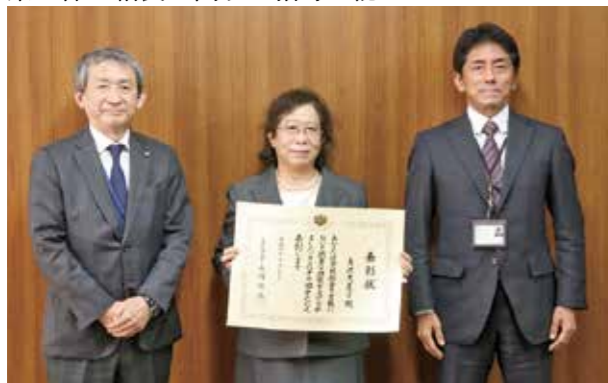
福津・宗像の農業振興に貢献したとして、市内で農業を営む松尾光浩さんが、むなかた地域農業活性化機構の令和4年度「農業功労賞」を受賞しました。

松尾さんは、ミニトマトやブロッコリーなどの栽培を中心に多品目の高収益作物の作付を行うなど、地域のモデルとなる農業経営を確立。また、福津市認定農業者協議会の会長、福岡県認定農業者組織連絡協議会の理事を務めるなど、地域の農業振興に貢献している功績がたたえられました。

松尾さんは「私が耕作している地域では大規模経営が難しいけれど、模索しながら、体が続く限り頑張っていきたい」と今後の抱負を話していました。

令和4年度文部科学大臣優秀教職員表彰 より良い学校給食への尽力を称えて

学校教育の資質向上に長年尽力したとして、元福岡小学校栄養教諭の大江久美子さんが、文部科学大臣から優秀教職員表彰を受けました。地元食材を使った学校給食献立の開発や食育指導などを行い、県全体の給食に関する指導が認められました。



▲左から大嶋教育長、大江さん、県教育事務所の折居邦成さん

第一生命保険株式会社と包括連携協定を締結 ウェル・ビーイング向上を目指して

地域の課題解決や住民サービスの向上について共働して推進するため、福津市は11月15日、第一生命保険株式会社と包括連携協定を締結しました。

協定には、健康増進、子育て支援などに協力して取り組んでいくことが計画されています。



▲協定書を掲げる陶山正人福岡総合支社長と原崎市長

サステナフェス サステナブルな社会へ

イオンモール福津で10月31日から11月6日にかけてサステナフェスが開催され、福津市・宗像市の伝統をテーマにしたパネル展示やワークショップのほか、豊かな自然をテーマにしたクイズラリーやワークショップを実施しました。

11月3日には「福津のいきもの水族館」が開催され、市内を流れる上西郷川に暮らす生き物を水槽に入れて展示したり、小学校の総合学習で学んだ内容を展示したりするなど、興味津々の子どもたち。「福津の川にもナマズがいるんだ」など、新

な発見をしながら「絶滅危惧種ってどのくらいいるんだろう」と困ったときには、上西郷川日本一の郷川をめざす会のスタッフが丁寧に説明していました。参加者には上西郷川図鑑やオリジナル缶バッジがプレゼントされ、ブース内は終始子どもたちやその保護者でにぎわっていました。

11月6日には、アップサイクルキーホルダー作り体験が行われました。海で拾ったマイクロプラスチックを使ってとは思えない、完成後のきれいな色の組み合わせに参加者は満足な様子。体験を終えた子どもたちの笑顔が印象的でした。



①福間南小学校の皆さんが制作したパネル
②笑顔でキーホルダーを持つ市来佑理さん
③キーホルダー作りの説明をするくらげれんごうの佐田優紀さん
④福津のいきもの水族館で学んだ後、缶バッジを作る参加者

市消防団が小学校で出前授業 地域を支える消防団

市消防団第5分団が福間南小学校でオンライン授業と放水実演を行いました。

2時間目に、消防団の組織や活動の紹介、災害に備えてどのような訓練をしているのかなどをオンラインで写真や文字のスライドを見せながら、第5分団の鈴木分団長、古川副分団長が説明。小学生からは「消防士と同じ防火服を着ているの」「水が足りなくなったらどうするの」などといった質問があがっていました。また、3時間目には放水実演が行われ、校舎に向かって放水するその勢いに、児童たちは驚いていました。



▲校舎に向かって放水する消防団員とそれを見つめる児童